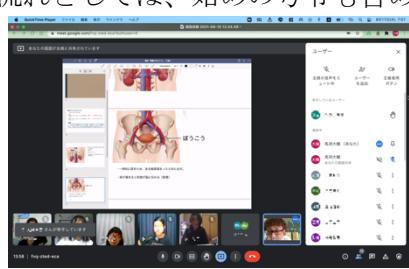
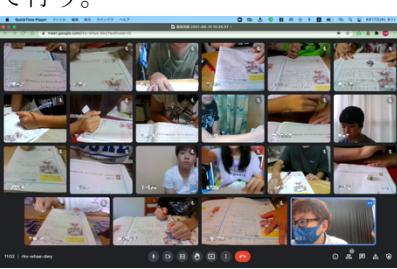
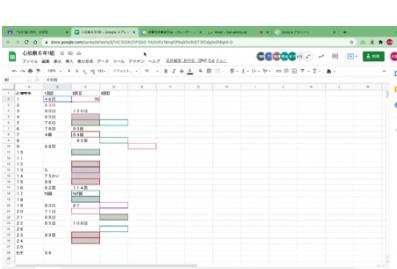


学校名	那覇市立松川小学校		指導者	馬渕 大輔
対象学年	5・6年（休校時の双方向オンライン授業）		教科等	理科
単元名	6年：動物のからだのはたらき 5年：植物の発芽と成長・メダカのたんじょう			
使用 ICT 機器	<input type="checkbox"/> 電子黒板 <input checked="" type="checkbox"/> 生徒用タブレット端末 <input type="checkbox"/> ソフト・アプリ等 （下に示した物）		<input checked="" type="checkbox"/> デジタル教科書 <input type="checkbox"/> 実物投影機 <input type="checkbox"/> その他 （サブ display）	
本時のめあて	各単元の各時のめあてに準じる			
ICT 機器の活用場面	Google Meet：常時 スプレッドシート（共同編集）：意見集約など情報共有時 ノートアプリ（黒板として使用）：常時 カメラ：ふりかえりなどのノート提出 スプレッドシート：授業前後の個別課題提出 PowerPoint：資料提示として使用			
指導の流れ	Meet での授業日程を Google カレンダーにて設定し、ストリームで児童に連絡  授業に合わせて、調べ学習の課題やふりかえりなどの提出も期限を決めて設定しておく。			
	 ノートアプリを黒板代わりに画面共有 *サブ display にアプリを開き書き込んでいく			
	 個人の考えをノートに書くときは、手元を映す 描き終わったら、正面に戻す			
	 画面の向こうでみんなで、スクワットをし、 その後、1分間脈拍を図る			
	 図った、脈拍数を、共有のスプレッドシートに書き込んでいく。			
	 単純な発問へは、チャット機能 を使って、全員の考えを聞く			
	 その日のふりかえりをノートに書いて 写真で提出して終わり			
指導上の留意点	基本はマイクをミュートにしておき、発表及び呟く時のミオフにすることを徹底する。 ノートを書く時は、手元を映すようとする。普段は、カメラオンで児童が映るようにする。 基本 PC の画面を使用して、児童のモニター状況と同じ環境で行う。 相互のネット環境により、途中切れてしまうことも念頭に置きながら指導する。			